

岐阜県農業技術センターニュース No.23

「国際化に対応した強い農林業展開プロジェクト」の取組み (野菜・果樹部、花き部、生物機能研究部)

本年度から新しい研究プロジェクトとして、「国際化に対応した強い農林業展開プロジェクト」が実施されます。本プロジェクトは、TPPやEPAといった広域経済連携による自由貿易圏の構築が加速する中、多大な影響を受ける農業分野において、安価な輸入農産物の流入に対抗する競争力の強化とブランド力を活かした海外への農産物の輸出促進を目指します。

このプロジェクトの目的を達成するため、本県の農林水産系の5研究機関が、「低コスト化」と「高品質化」をキーワードとして新しい品種や技術開発に取り組んでいきます。

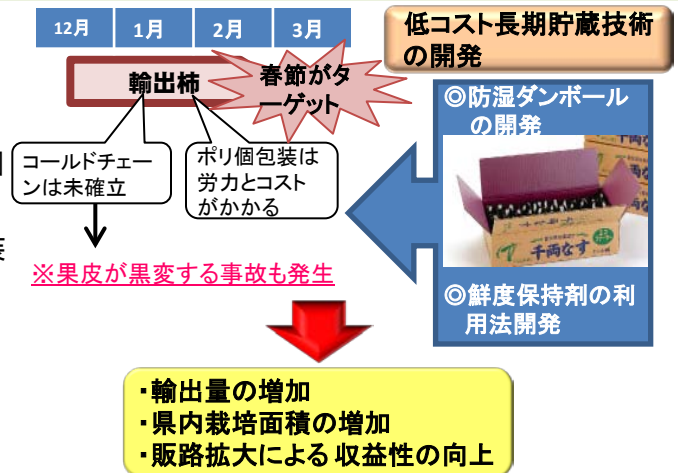
当センターでは、本県の主要品目である「カキ」と「鉢花」において、以下の研究項目を担当し、国際競争力のある「攻めの農業」づくりを推進します。

◎カキにおける輸出用長期貯蔵技術および品質保持技術の確立 —野菜・果樹部—

カキの消費が低迷している中、販路拡大のため、岐阜県では関係団体と連携し、アジア向け輸出と新品種「早秋」「太秋」の導入に取り組んでいます。

国内では、コールドチェーンとポリエチレン袋の個包装による長期貯蔵技術が確立されていますが、輸出用のコールドチェーンは未確立で、ポリ個包装も労力とコストがかかります。

そこで、温度管理とポリ個包装が不要な輸出用の長期貯蔵技術を開発するとともに、日持ち性が短い「早秋」「太秋」の品質保持技術を開発し、ブランド力向上と産地活性化につなげます。



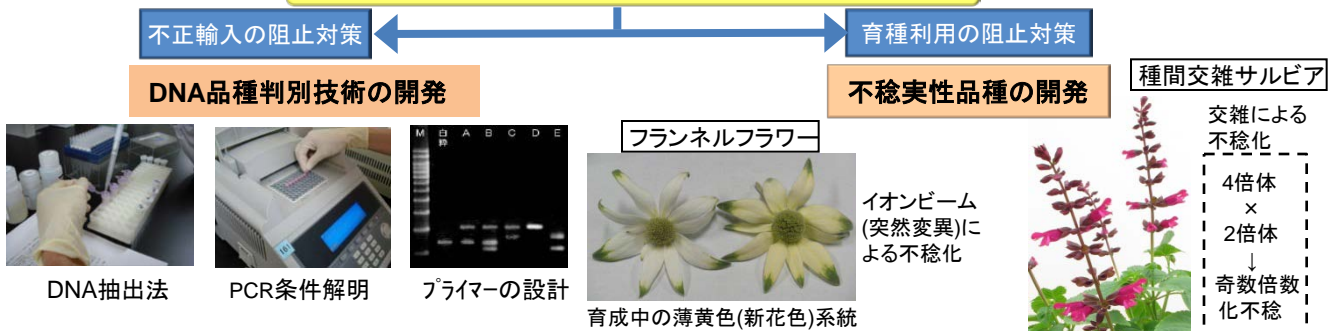
◎鉢花の海外展開に向けた種苗保護技術の開発と戦略的品種の育成 —花き部、生物機能研究部—

国内市場の低迷により、海外に新たな市場を求める取組みは、国や県の主要施策です。ブランド力の高いフランネルフラワーの輸出は、有力な取組みの一つですが、模倣品の逆輸入等の侵害を受ける可能性があり、大きな懸念材料となっています。

これを排除する対策としてDNA品種判別技術は大変有効であるため、フランネルフラワーの品種判別技術を開発します。また、海外の品種保護制度では、自家採種による育種利用が認められるため、既存品種について不稔化するとともに効率的な挿木増殖法を確立し、積極的な海外進出を可能とします。

県育成品種が海外で高い評価を受けることにより、品種のブランド力強化と販売促進を目指します。

県育成品種を海外へ積極的に展開する上で必要な取組み



トマト独立ポット耕の安定高収量をめざして

(野菜・果樹部)

トマト独立ポット耕は1.2L/株の少量培地耕で、高収量が期待できる養液栽培として普及が進み、全国で約7ha導入されています。

本栽培の給液制御は、回数を手動設定するタイマー制御であり、環境条件に適応した給液回数の設定が難しく、人為的ミスも生じやすいため、収量が伸び悩む原因となっています。

そこで、この対策として、土壌水分センサーを用いて測定した培地含水率を指標とする給液制御技術を開発しました。この新しい給液制御技術により、給液回数が自動で増減し、曇雨天時の過剰給液を防ぐことができます。今後、現地での実証試験を行い、実用化を図る予定です。

なお、岐阜県は、トマト独立ポット耕を活用した新規就農者の育成に力を入れて行きます。25年度には、海津市に栽培研修施設2棟(40a)を新たに整備し、26年度から研修を開始する予定です。



土壌水分センサー
使用状況

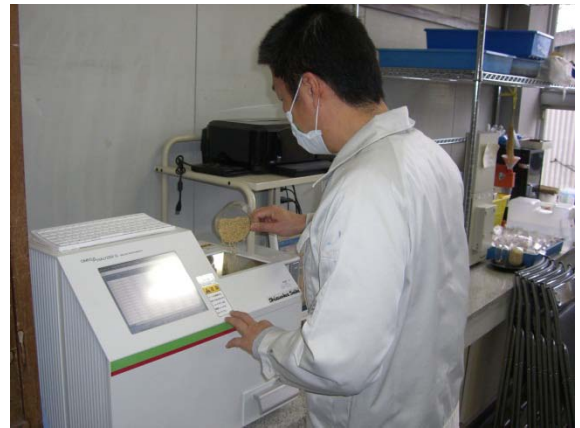
「ハツシモ岐阜SL」で食味ランキング「特A」に挑む

(作物部)

「ハツシモ岐阜SL」は平成21年に奨励品種に採用されてから、縞葉枯病の被害低減とともに、一等米比率の向上などの成果を上げてきました。

また、食味に関しては(一財)日本穀物検定協会による食味ランキング公表値が「A´」から「A」とワンランクアップしています。

近年、北海道や九州地方で育成された新品种が「特A」という最上級の食味ランキングを獲得するなど、米の産地間競争が激化する中、「ハツシモ岐阜SL」の更なる市場評価の向上に向けて、食味ランキング「特A」を獲得する栽培条件の明確化に取り組んでいきます。



機器分析による食味の調査

人事異動(平成25年4月1日付)

よろしくお祈りします

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
坂田 勲	生物機能研究部専門研究員	病害虫防除所	渡辺 孝子	技術検査課総括管理監	総務課係長
雨宮 剛	生物機能研究部専門研究員	岐阜農林事務所	山田 隆史	中山間農業研究所	作物部専門研究員
粥川 壮優	花き部主任研究員	農産物流通課	今井 啓司	郡上農林事務所	野菜・果樹部専門研究員
近藤 俊文	野菜・果樹部主任研究員	飛騨農林事務所	三輪 俊貴	中濃農林事務所	花き部専門研究員
鈴木 千枝	管理調整係主任	東濃振興局	宮崎 暁喜	研究開発課	生物機能研究部主任研究員
山岸 雅也	管理調整係主任	障害福祉課	三輪 育代	精神保健福祉センター	総務課主任

岐阜県農業技術センター

〒501-1152 岐阜市又丸729-1

Tel 058(239)3131

ホームページアドレスが変わりました→ <http://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

南濃試験地

〒503-0651 海津市平原1165

Tel 0584(53)0175

池田試験地

〒503-2407 揖斐郡池田町般若畑631-11

Tel 0585(45)3837